

# 2023 ズバリ! 的中



# 地理

## 九州大学

### アメリカ合衆国北東部と五大湖沿岸地域の工業地域の形成とその変化を論述する問題が的中

#### 入試問題

前期日程  
〔1〕問1

〔1〕工業生産と企業活動に関する以下の問い(問1～3)に答えなさい。(50点)

問1. 19世紀後半から現在までの、アメリカ合衆国北東部と五大湖沿岸における工業地域の形成とその変化について、以下の語句をすべて用いて、200字以内で述べなさい。

自動車産業    先端技術産業    炭田

問2. 1970年代以降、フィレンツェやヴェネツィアを囲むイタリア中部から北東部の地域における産業集積が注目を集めるようになった。この地域に集積している産業およびその生産方式の特徴について、120字以内で述べなさい。

問3. 複数の国に生産・販売の拠点を設立し、世界的な活動を展開する企業は、「多国籍企業」と呼ばれる。こうした企業による分業体制やそれが地域に及ぼす影響、近年におけるその変化について、以下の語句をすべて用いて、200字以内で述べなさい。

研究・開発部門    現地化    発展途上国

#### 河合塾

九大入試オープン  
36頁〔2〕問3

〔2〕アメリカ合衆国に関する以下の問い(問1～4)に答えなさい。(50点)

問1. 表2は、アメリカ合衆国におけるいくつかの州の人口と人口密度、農業生産額、畜産額、製造品出荷額を示したものである。表中のA～Dは、イリノイ州、カリフォルニア州、テキサス州、ニューヨーク州のいずれかである。A～Dに該当する州名を、それぞれ答えなさい。

表2

|   | 人口<br>(万人) | 人口密度<br>(人/km <sup>2</sup> ) | 農業生産額<br>(億ドル) | 畜産額<br>(億ドル) | 製造品出荷額<br>(億ドル) |
|---|------------|------------------------------|----------------|--------------|-----------------|
| A | 3,954      | 93.3                         | 376.0          | 123.4        | 4,932           |
| B | 2,915      | 41.9                         | 68.9           | 143.6        | 5,231           |
| C | 2,020      | 143.0                        | 19.4           | 33.8         | 1,485           |
| D | 1,281      | 85.4                         | 137.9          | 25.3         | 2,525           |

・統計年次は、人口と人口密度は2020年、農業生産額と畜産額は2019年、製造品出荷額は2016年。  
出典:『データブック オブ・ザ・ワールド』2022年版に基づき作成。

問2. アメリカ合衆国では企業の農業が高度に発達しており、近年ではアグリビジネスがフードシステム(食料供給体系)に深く関わっている。なかでも穀物メジャーはアメリカ合衆国内外における農産物の流通に大きな影響を与えている。アメリカ合衆国の穀物メジャーについて、100字以内で述べなさい。

問3. 第二次世界大戦後のアメリカ合衆国では、北東部から五大湖地方を含むスノーベルトで工業が衰退する一方、北緯37度以南のサンベルトで急速に工業化が進んだ。アメリカ合衆国におけるスノーベルトの盛衰とサンベルトの発展の背景について、以下の語句をすべて用いて、300字以内で述べなさい。

工業用地    国際競争力    産業構造    先端技術